

	第113回 発電用設備規格委員会 原子力専門委員会 議事録
1.	日 時：2023年3月2日（木）10:00～17:00 3月3日（金） 9:30～12:00
2.	場 所：日本機械学会 第1・第2会議室 WEB会議：WebEx（ミーティング番号：2517 818 5528、2515 822 0739） 電話会議：会議 ID（2517 818 5528、2515 822 0739）、電話番号（+81-34-578-4002）
3.	出席者：委員23名（委員代理含む）、敬称略
	【委員】 松永委員長（東芝 ESS）、山田副委員長（中部）、高屋幹事（JAEA）、飯田（電中研）、永田（日立 GE）、月森（福井大）、兼近（鹿島）、野村（CSE）、望月（大阪大）、佐藤（発電技研）、笠原（東大）、中村（川重）、三浦（電中研）、定廣（富士電機）、今井（東電HD）、荒川（TEPSYS）、北村（関電）、清水（IHI）、佐藤（JANSI）、三好（原電）、小林（EPRI）、中山（JEA）、中島（MHI）、
	【委員代理】 なし
	【欠 席】 小枝（日本製鋼M&E）
	【常時参加者】 なし
	【オブザーバ】 野本、角田、奥田、渡壁、岡島（JAEA）、森田（電中研）、町田（TEPSYS）、中村（大阪大）、森、板谷（東芝 ESS）、朝田、北条、小口、渡辺（MHI）、渋鋤（IHI）、中村（東京都市大）、波木井、志田（TEPCO HD）、大竹、清水、平野（日立 GE）、木村（NIMS）、デフランコ（JGC）
	【事務局】 渡邊、松岡
4.	配布資料
	添付 配布資料一覧参照
5.	議事内容（定例）
(1)	開 会
	松永委員長より委員会開会の宣言が行われた。 出席者を点呼し、定足数（委員総数の2/3以上）を満足することを確認した。 資料113-0により議事次第案の確認が行われ、委員全員の賛成により承認された。
(2)	前回議事録案の確認【資料113-1】
	前回第112回議事録案の主な内容が紹介され承認された。 また前々回第111回原子力専門委員会議事録(案)について、原子力専門委員会メール審議 No.120により承認されたことが報告された。
(3)	投票結果報告【資料113-2】
	事務局より、資料113-2により書面投票、メール審議結果について報告された。
(4)	質問受付、公衆審査結果【資料113-3】
	事務局より、資料113-3-1により質問受付対応状況について報告された。 資料113-3-2-1により、下記公衆審査について意見なく終了した旨報告された。 ・No.195 使用済燃料貯蔵施設規格 金属キャスク構造規格 事例規格 バスケット材料としてアルミニウム合金及びほう素添加アルミニウム合金を使用する場合の規定（案）に対する公衆審査 資料113-3-2-2により、意見受付公告 No.192 によせられたご意見に対して回答を行い、結果を公開した旨報告された。

(5)	規格委員会報告【資料 113-4】
	事務局より、資料 113-4 により第 104 回発電用設備規格委員会議事録案の概要が紹介された。
(6)	原子力専門委員会委員／分科会委員の承認【113-5】
	事務局より、資料 111-5 により、原子力専門委員会、原子力専門委員会傘下の各分科会委員の再任、退任、新任の委員候補が以下の通り紹介された。審議の結果、委員全員の賛成により、各分科会の再任候補者、新任委員候補者が承認された
	1. 原子力専門委員会 [再任] 月森委員（福井大）、望月委員（大阪大）、三浦委員（電中研）、清水委員（IHI）、佐藤委員（JANSI） [退任] 兼近委員（鹿島） [新任] 美原 義徳（鹿島建設）、デフランコ 真子（日揮グローバル） [その他] 所属変更：月森委員（JAEA⇒福井大学） 2. 分科会関係 ➤ 設計・建設分科会 [再任] 佐々木委員（川重） ➤ 材料分科会 [再任] 高橋委員（東芝 ESS） ➤ 維持規格分科会 [再任] 佐藤委員（JANSI）、李委員（JAEA） [退任] 高田委員（関西）、和地委員（MHI） [新任] 高木 俊輔（TEPCO HD） ➤ 溶接分科会 [再任] 大石委員（発電技研）、小口委員（MHI）、五十棲委員（MHI）、兼広委員（IHI） [退任] 藤岡委員（電子科学研究所）、高田委員（関西） [新任] 大西 知晴（関西） ➤ 使用済燃料貯蔵施設分科会 [再任] 清水委員（日立 GE）、小茂島委員（慶応大）、北条委員（MHI） ➤ 再処理設備分科会 [再任] 園部委員（日立 GE）、小出委員（MHI）、武田委員（山梨大） ➤ 配管減肉分科会 [退任] 福田委員（NEL） [新任] 二宮 聖一郎（NEL） ➤ 疲労評価分科会 [再任] 平野委員（日立 GE）、箕島委員（阿南工専）、鈴木委員（MHI）、鬼澤委員（JAEA）、朝田委員（MHI）、高木委員（TEPCO HD）、釜谷委員（INSS）、西川委員（NIMS） [退任] 中村委員（大阪大）、樋口委員 ➤ 過酷事故対応分科会 [退任] 小林委員（MHI）、原田委員（MHI） [新任] 中村 満（MHI） ➤ 竜巻影響評価分科会 [再任] 野本委員（関西）
6.	議事内容（原子力専門委員会運営に関する審議）
(1)	2023 年度原子力専門委員会・分科会活動計画の策定について【資料 113-6-1】(説明者:山田副委員長)
	山田副委員長から資料 113-6-1 により、2023 年度活動計画について、原子力専門委員会ご意見伺い書面投票に伴う各分科会分対応結果について報告され、次回規格委員会に報告することが承認された。

	笠原委員より、各活動テーマと社会ニーズとの関係性、どう貢献しているかについて意識して説明性を高めること、また革新炉（高速炉、高温ガス炉、核融合）について個別細分化した規格化と、社会ニーズに対して説明しやすく体系化した規格とする等の進め方について工夫が必要とのご意見が寄せられた。
(2)	高温ガス炉規格検討タスクの立ち上げについて【資料 113-6-2】（説明者：高屋幹事） 高屋幹事から資料 113-6-2 により、「高温ガス炉規格検討タスク（仮称）」の設置と規格策定の検討開始について説明された。25 年度末の規格案作成と審議対応、引き続き規格メンテナンスを行う組織を検討することとして、タスク設置について書面投票を実施することが提案され、承認された。また本件次回規格委員会にてトピックスとして紹介する旨、松永委員長より指示された。 JAEA 角田氏（オブザーバ参加）から資料 113-6-2-2 により、高温ガス炉開発の概要について説明された。 ➤ タスクメンバ構成のイメージは？ ⇒学識、重工、金属材料を想定。黒鉛材料メーカには、必要に応じて材専へのリエゾン派遣も検討する。 ➤ 高温ガス炉は固有安全性等で軽水炉と異なる特徴を有していることから、安全やシステムに詳しいメンバの参加が望ましいのでは。 ⇒タスク立ち上げ承認後、メンバ選定で配慮する。 ➤ 高温ガス炉規格の高速炉規格との違いは何か？ ⇒黒鉛および新しい材料の追加、より高温側への材料規格値の拡張等が挙げられる。 ➤ 規格の建付はどのように想定するか。既存規格の一部とする可能性はあるか？ ⇒規格すべき要件の整理とスケジュールを見ながらタスクで議論する。
(3)	委員会資料の取扱いに関する内規の発行について【資料 113-6-11】（説明者：事務局） 事務局から資料 113-6-11 により、原子力専門委員会資料の取り扱いに関する内規について規格委員会メール審議 No.45（2020/1/27）にて承認後、内規の発行が為されていなかったことから、改めて正式発行に向けて規格委員会に提案することが提案され、承認された。 また規格委メール審議 No.45 意見対応については、その後 Web 会議導入に伴い会議開催と資料取扱が変化している状況も踏まえ、共通課題検討会にて改めて議論することとした。 主な質疑は下記の通り。 ➤ 当時の検討内容のまま内規として発行して、会議資料取扱など問題無いのか。 ⇒内規の記述上は問題ないと考えているが、改めて共通課題検討会にてご検討を踏まえて必要に応じて見直すことを提案する。 ➤ （他の）原専起案・規格委承認内規について、右肩部日付・発行者の記載体裁の統一はどのようなになっているか？ ⇒本日提案は、当時メール審議時点での提案ベースとしている。本件、共通課題検討会にて検討いただくこととなった。 ➤ 内規「別紙－1」の扱いは Web 会議の場合どうするのか？ ⇒現在は会議室会議でも紙の資料配付は行っていない。オブザーバ参加者から紙／電子の資料請求があった場合に、後日事務局より開示資料と共に提示する体裁が考えられる。
7.	議事内容（原子力発電設備規格に関する審議）
(1)	設計・建設分科会【資料 113-07】 朝田分科会主査より資料 113-7-1-1～5 により、正誤表関係の規格委員会書面投票意見対応について報告され、承認された。 資料 113-7-3 により、原子力規制庁より正誤表に関するご質問対応について報告された。

(2)	材料分科会【資料 113-08】 山田分科会主査より資料 113-8-1 に基づき新規の質問（22NM-022；QNC2005-173）「JIS H 3250（銅及び銅合金の棒）の年版読み替え」に対する質疑応答案が説明され、審議の結果、提案通り承認された。
(3)	維持規格分科会【資料 113-09】 維持規格分科会の野村主査、評価作業会の北条主査及び補修作業会の大竹主査から、資料 113-9 により下記事項について説明がなされた。 資料 113-9-1 により、「補修章の正誤表（WOL 工法における評価規定の引用先の修正）」の原子力専門委員会書面投票意見対応案について説明がなされ、回答は妥当なものであることが確認された。また、規格委員会に提案することが承認された。 資料 113-9-2 により、「補修章の承認済の正誤表の訂正」の原子力専門委員会書面投票意見対応案について説明がなされ、回答及び修正は妥当なものであることが確認された。また、規格委員会に提案することが承認された。 資料 113-9-3 により、「極限荷重評価法への有限要素解析法の適用」の規格委員会書面投票意見対応案について説明がなされた。規格委員会に説明することは承認されたが、対応案は技術的な変更を伴うため、意見対応が収束してから、原子力専門委員会の再投票を行うこととなった。 資料 113-9-4 により、「維持規格 2022 年版及び事例規格集への公衆審査意見対応」の規格委員会メール審議結果について説明がなされ、回答は妥当なものであることが確認された。規格委員会でのメール審議の実施により 12 月中に手続きが完了していないが、12 月の規格委員会において「技術的な審議は終了し 2022 年版として発行することに問題がない」ことが確認されている、との補足説明があった。
(4)	溶接分科会【資料 113-10】 小口分科会幹事から説明がなされた。 2024 年版改定（案）（その 1）の書面投票 No.701 の投票結果について、資料 113-10-1 により報告がなされた。「超音波探傷試験の対比試験片」は次回の方で報告する。「溶接部の特例」は、取り下げを行う提案がなされ、取り下げが承認された。「引用規格 JIS Z 3090 の適用年版の改定」については意見を受けて解説の一部から年版を削除する修正を行った。本修正案は可決され、次回の規格委員会に上程することとした。 質問 QNB-2020-01 の磁粉探傷試験の対比試験片に関する質問について、資料 113-10-2 により説明がなされた。回答案は承認された。 質問 QNB2007-13 の吸収エネルギーに関する質問について、資料 113-10-3 により説明がなされた。議論の結果、質問文を質問者と内容を調整した上で、メール審議を行うことが承認された。 2024 年版改定（案）（その 2）の提案 3 件について、資料 113-10-4 により説明がなされた。「溶接部の吸収エネルギー規定材料の追加」については、成分値の変化について補足資料を追加すべきとの意見があった。3 件とも、書面投票挙を行うことが承認された。 正誤表（案）について、資料 113-10-4 により説明がなされた。15 日間の書面投票を行うことが承認された。 溶接規格改定に関するご意見伺いの投票提案について、資料 113-10-6 により説明がなされた。書面投票を行うことが承認された。
(5)	使用済燃料貯蔵施設分科会【資料 113-11】

	清水分科会幹事から資料 113-11-1～3 により、金属キャスク構造規格 2016 年公衆審査版からの改訂提案について、規格委員会書面投票（2 次・再投票）の意見対応（案）並びに公衆審査実施計画について提案され、承認された。
(6)	コンクリート製格納容器規格分科会【資料 113-15】
	審議事項無し
(7)	高温規格分科会資料【資料 113-12】
	高屋分科会主査から資料 113-12-1～4 を用いて、原専書面投票 No.700 及び同メール審議 No.121 の意見対応が報告された。続いて、資料 113-12-5～8 を用いて、高速炉規格に関する新規提案 4 件が説明され、原専での書面投票の開始と、規格委員会への、原専での可決を条件とした書面投票開始の提案が承認された。
(8)	再処理設備分科会【資料 113-】
	審議事項無し
(9)	配管減肉分科会【資料 113-13】
	資料 113-13 により、配管減肉管理に関する技術規格 2022 年版（BWR）の公衆審査版からの追加の修正について提案され、挙手による採決により承認された。
(10)	疲労評価分科会【資料 113-14】
	板谷分科会幹事から資料 113-14-1 により環境疲労評価手法 2022 年版改定の今後の進め方について説明が為され、確認された。 中村分科会委員から資料 113-14-2-1～3 により環境疲労評価手法 2022 年版の公衆審査後の軽微な修正に対応する英訳版修正提案の原子力専門委員会メール審議提案について説明が為され、メール審議（2 週間、No.127）の実施と、その可決を条件に規格委員会へメール審議入りを提案することが承認された。
(11)	過酷事故対応規格【資料 113-19】
	永田分科会主査から資料 113-19-1 によりシビアアクシデント時の構造健全性評価ガイドライン改定案 公衆審査版からの変更提案に対する原専メール審議 No.123 結果報告について意見無く賛成多数で可決承認された旨報告があった。又、第 104 回規格委員会ではこの原専メール審議 No.123 での承認を条件に席上で承認されていることも報告された。 以上で、ガイドライン改定案正式発行のための準備が終了したので今後事務局と相談しながら正式発行作業を進めることにすることになった。 なお、JSME 規格に対する電事連の評価についての紹介があり、各レベルで対応を検討することとした。
(12)	竜巻影響評価分科会 【資料 113-18】
	清水委員より、「竜巻衝撃荷重構造健全性評価手法ガイドライン」に関する原子力専門委員会メール審議 No.124 について意見対応中である旨が報告された。
(13)	金属キャスクアルミバスケット材料検討タスク【資料 113-16】

	波木井タスク主査および永田委員から資料113-16-1～4により「金属キャスクバスケット材料用アルミニウム合金事例規格案」に関する公衆審査結果報告及び公衆審査版からの変更提案があった。 公衆審査版からの変更提案に関しては2週間のメール審議（NO.126）にかけることになった。 なお、多数の修正点があったことから規格案の発行前の確認を求めている現プロセスを見直す必要がないか幹事会で検討することになった。 事例規格集についての提案が含まれていないことについて確認の意見が寄せられ、タスクから事例規格原稿として発行準備を整え発刊については別途調整することを確認した。松永委員長より、対応分科会にて発刊取扱を調整してほしい旨の意見が示された。
(14)	配管耐震タスク【資料 113-17】 中村タスク主査より資料 113-17 により、事例規格 NC-CC-008「弾塑性応答解析に基づく耐震 S クラス配管の耐震設計に関する代替規定」（2019 年版）に対する正誤表の発行について書面投票を行うことが提案され、可決を条件に規格委員会に提案することが承認された。
(15)	目標信頼性検討タスク【資料 113-20】 岡島タスク幹事より資料 113-20-1 により、目標信頼性ガイドライン（案）の公衆審査開始について規格委員会に提案することが報告された。
(16)	AM技術規格検討タスク【資料 113-21】 松永タスク主査より資料 113-21-1 により、AM 規格案骨子に対する意見伺いの原子力専門委員会書面投票回答案について説明がなされた。 また規格委員会における審議を踏まえ、分科会（設計・建設、溶接、維持規格、疲労評価）に説明する旨が報告された。
8.	議事内容（原子力専門委員会運営に関する報告）
(1)	ASME B&PV Code 委員会報告【資料 113-6-3】（説明者：松永委員長） 松永委員長より、2023 年 2 月 ASME 関係活動概要について報告された。ASME/JSME Joint ミーティングとして TG on SA にて JSME より「陽解法を用いた地震力による水タンクの座屈評価手法」「AM 技術に関する JSME 規格開発進捗報告」「地震力による配管の破損モードと疲労評価に関する技術課題」についてプレゼンを実施した旨、また RIM Process and System Based Code (BPV XI)にて目標信頼性タスクの活動状況、Na 冷却高速炉 LBB ガイドラインについて報告等について紹介された。
(2)	原子力関連学協会規格類協議会の状況【資料 113-6-4】（説明者：松永委員長） 松永委員長より、規格類協議会の活動状況について報告された。
(3)	2022 年度 学協会ピアレビューの対応状況について【資料 113-6-5】（説明者：松永委員長） 松永委員長より、学協会ピアレビューの対応として 2 月開催された現地ピアレビューの開催状況について報告された。現地ピアレビューでは指摘事項、要改善事項は無く、良好事例として ASME との良好な関係、事例規格を活用し最新知見の反映に務めている点、投票システムの活用について挙げられた旨が紹介された。
(4)	NRA 技術評価の対応状況について【資料 113-6-6】（説明者：松永委員長） 松永委員長より、NRA 技術評価対応について、2 月第 1 回検討チーム会合が開催され対応状況について報告された。
(5)	電事連とのコミュニケーションについて【資料 112-6-7】（説明者：松永委員長） 松永委員長より、電事連とのコミュニケーションとして学協会規格の継続的な活用に向けた電気事

	業者からの提案の検討状況について、電事連と3学協会幹事間協議の状況が報告された。JSME 関連では、短期的対応として JSME S-NX1「SA 設計ガイド<BWR 編>」については廃刊せず維持管理対象としないこと、中長期対応として規格高度化に関する根拠研究について意見交換を進めることなどを合意された旨が紹介された。				
(6)	リスク情報活用検討タスク立上げの状況について【資料 113-6-8】(説明者：今井タスク主査)				
	今井タスク主査より、活動状況について報告された。主査：今井 (TEPCO HD)、副主査：牟田 (都市大)。RI-ISI に限定せずリスク情報活用全般を整理する方針について紹介された。笠原委員より、JSME 目標信頼性タスク、原子力学会との連携についても引き続き進めてほしい旨の意見が寄せられた。				
(7)	ICONE, SMiRT, OECD/NEA Aging Management Workshop について【資料 113-6-9】(説明者：松永委員長)				
	松永委員長より、ICON30 (23 年 5 月@京都) Workshop の計画、SMiRT27 (24 年 3 月@横浜) 論文募集、OECD/NEA Aging Management Workshop (23 年 6 月@東京) の計画についてそれぞれ紹介された。				
(8)	電子配信・規格発刊状況について【資料 113-6-10】(説明者：事務局)				
	事務局より、電子配信実績、規格出版準備状況について報告された。				
9.	各分科会報告／その他【資料 113-25】				
	なし				
10.	次回開催予定				
	第 8 4 回原子力専門委員会幹事会	2023 年	6 月	1 日 (木)	1330-1700 WEB 会議
	第 1 1 4 回原子力専門委員会	2023 年	6 月	7 日 (水)	1000-1730 WEB 会議
	以 上				

第 1 1 3 回 発電用設備規格委員会 原子力専門委員会 配布資料一覧

【第 113 回(20230302)】

113-0 : 第 113 回原専議事次第案_R1. doc

【01-05 : 事務局】

113-1-1 : 第 111 回原子力専門委員会議事録(案)r3. pdf

113-1-2_第 112 回原子力専門委員会議事録(案)_R1. docx

113-2 : 投票結果. pdf

113-3-1 : 質問受付対応. pdf

113-3-2-1 : 公衆審査結果. doc

113-3-2-2 : 意見受付公告 No. 192 ご意見者への回答通知. pdf

113-4 : 第 104 回発電用設備規格委員会議事録案. pdf

113-5 : 原子力専門委員会／分科会委員承認. pdf

【06 : 原専委員会運営】

113-6-1-1_投票結果_原専 LB No. 697 (2023 年度活動計画) . pdf

113-6-1-2 改 【ご意見反映版】 2023 年度 原専活動計画_Fix. pdf

113-6-2-1_高温ガス炉規格検討タスク (仮称) の設置提案. pdf

113-6-2-2_ (参考) 高温ガス炉開発の概要. pdf

113-6-3_ASME Code Week (2023 年 2 月) 概要報告_20230220. docx

113-6-4-1_83-4-2_94-B-1_第 69 回規格類協議会議事録. pdf

113-6-4-2_83-4-3-1_70-0_第 70 回協議会_幹事会_議事次第 R3. pdf

113-6-5_ピアレビューチェックシート JSME_20230203_事前質問 r15. docx

113-6-6_83-2-5-1_JSME 主要 3 規格の技術評価対応状況_202302_R0. pdf

113-6-7_70-2-1_学協会規格の継続的な活用に向けた電気事業者からの提案の検討状況+JSME 対応. pdf

113-6-8_20230127 リスク情報活用検討タスクキックオフミーティング_議事メモ r1. pdf

113-6-9-1_ICONE30 Nuclear CS Workshop の計画について_202302. pdf

113-6-9-2_83-2-8-2_SMiRT27 論文投稿のお誘い +brochure. pdf

113-6-9-3_83-2-9_94-C-1-3_Flyer 2023 June 28-29 Ageing Management workshop Japan. pdf

113-6-10 : 規格出版状況 R1. pdf

113-6-11 : 資料取扱要領内規の発行について. pdf

【07 : 設計・建設分科会】

113-07-0_#113 原専_設計・建設分科会 審議案件_R0a . pdf

113-07-1-1_DC22-22 他正誤表規格委書面投票対応 R2_230302 #113 原専. pdf

113-07-1-2_DC22-22 解説での式の誤記_合本_R3_規格委 LB. pdf

113-07-1-3_DC22-16_許容応力に対する特別な要求 JIS G4052_合本_R1_規格委 LB. pdf

113-07-1-4_DC22-20_PPC&PPD-3424 穴補強適用条件正誤表_合本_R2_規格委 LB. pdf

113-07-1-5_DC22-24_図 VVB-3320-1 矢印の抜け_合本_R0V2_規格委. pdf

113-07-1-6_DC22-25_図 VVB-3411-1 r1 寸法位置_合本_R0V2_規格委. pdf

113-07-2_DC22-29_溶接規格 2024(その 1) 影響評価 R1. pdf

113-07-3_図 添付 4-A についての質問回答 r1. pdf

【08 : 材料分科会】

113-8-0_第 113 回原専管理リスト_材料分科会. pdf

113-8-1_質疑応答 QNC2005-173 (22NM-022). pdf

【09：維持規格分科会】

- 113-9-0 資料リスト.pdf
- 113-9-1 補修章の正誤表（WOL 工法における評価規定の引用先の修正） R1. pdf
- 113-9-2 補修章の承認済みの正誤表の訂正 R2. pdf
- 113-9-2(参考 1) _112-9-7_補修章の承認済みの正誤表の訂正 R2. pdf
- 113-9-2(参考 2) _112-9-7_補足_補修章の承認済みの正誤表の訂正 R1. pdf
- 113-9-3 極限荷重法への FE 適用. pdf
- 113-9-4 2022 年版及び事例規格集への公衆審査意見対応（報告）. pdf

【10：溶接分科会】

- 資料 No. 113-10-0_溶接分科会審議案件. pdf
- 資料 No. 113-10-1_溶接規格 2024 年版改定(案) (その 1) 原専委員会書面投票結果. pdf
- 資料 No. 113-10-1-1_溶接の特例の改定提案の扱いについて. pdf
- 資料 No. 113-10-1-1_添付_DC22-29_溶接規格 2024(その 1) 影響評価 R1. pdf
- 資料 No. 113-10-1-2_引用規格 JIS Z 3090 の適用年版の改定(案) 原専委投票意見回答(案). pdf
- 資料 No. 113-10-2_溶接規格_質問 QNB2020-01 への回答(案). pdf
- 資料 No. 113-10-3_溶接規格_質問 QNB2007-13 への回答(案). pdf
- 資料 No. 113-10-4_溶接規格 2024 年版改定(案) (その 2) 書面投票提案. pdf
- 資料 No. 113-10-5_溶接規格正誤表(案) 書面投票提案. pdf
- 資料 No. 113-10-6_溶接規格改定に関してのご意見伺い. pdf

【11：使用済燃料貯蔵施設分科会】

- 113-11-1 貯蔵分科会審議案件. pdf
- 113-11-2 規格委員会二次書面投票 no. 593 意見対応. pdf
- 113-11-3 公衆審査計画. pdf

【12：高温規格分科会】

- 113-12 _高温規格分科会審議案件リスト. pdf
- 113-12-1_(ETD22-010) クラス 2 配管の熱荷重に関する規定に対する正誤表の発行_原専コメント対応. pdf
- 113-12-2_(ETD22-015) クラス 1 支持構造物の構造の規格の解説に対する正誤表の発行_原専コメント対応. pdf
- 113-12-3_(ETD22-016) FPVE-3110 で呼び出している規定番号及び FPVC-3901 に関する解説タイトルに関する正誤表の発行_原専コメント対応. pdf
- 113-12-4_公衆審査用原稿からの修正（信頼性評価ガイドライン） 報告（一式）. pdf
- 113-12-5_公衆審査原稿からの修正_お知らせ案 R10. pdf
- 113-12-6(ETD22-009) 付録材料図表の材料規格適用に関する改定. pdf
- 113-12-7_ETD19-001_「長期一次応力が低い場合の規定」の代替規定の提案_20230302. pdf
- 113-12-8 (ETD22-006) 緩和クリープ損傷係数算定に関する代替規定_230302R. pdf

【13：配管減肉分科会】

- 資料 113-13_【一式】配管減肉規格改定案_2022 年版公衆審査終了後の軽微な修正(追加)_20230226_原専提案. pdf

【14：疲労評価分科会】

- 113-14-0_管理リスト(疲労評価分科会). pdf
- 113-14-1_環境疲労評価手法 2022 年版の審議経緯と今後の進め方. pdf
- 資料 No. 113-14-2-1_環境疲労評価手法 2022 年版英訳版の軽微な修正提案 R3. pdf
- 資料 No. 113-14-2-2_2022 年版英訳版 軽微な修正の反映提案一覧表 R2. pdf
- 資料 No. 113-14-2-3_英訳版_修正箇所新旧比較表 R4. pdf

【16：金属キャスクアルミバスケット材料検討タスク】

113-16-1 R0_アルミバスケット事例規格案_規格委書面投票 No. 573 結果報告. pdf
113-16-2 R3_アルミバスケット材料事例規格案_公衆審査版からの変更_20230306-1. pdf
113-16-3-1 R1_事例規格 本文_正式発行版向けチェック結果反映見え消し版_20230303-1. pdf
113-16-3-2_事例規格 添付-1_正式発行版向けチェック結果反映見え消し版_20230301-3. pdf
113-16-3-3 R1_事例規格 添付-1（解説）_正式発行版向けチェック結果反映見え消し版_20230302-1. pdf
113-16-3-4_事例規格 添付-2_正式発行版向けチェック結果反映見え消し版_20230301-1. pdf
113-16-3-5 R1_事例規格 添付-2（解説）_正式発行版向けチェック結果反映見え消し版_20230303-1. pdf
113-16-4 R2_事例規格 正式発行版向けチェック結果反映クリーンアップ 版_20230303-1. pdf

【17：配管耐震タスク】

資料 113-17 耐震タスク NC-CC-008 正誤表提案（合本）. pdf

【19：過酷事故対応分科会】

113-23-1-1 R0_SA ガイドライン改定案_公衆審査版からの変更提案_原専メール審議結果報告. pdf

【20：目標信頼性検討タスク】

113-20-1_ガイドライン初版公衆審査提案. docx
113-20-2_ガイドライン公衆審査準備. docx

【21：AM技術規格検討タスク】

AM 規格骨子_意見伺い回答案_202303. docx